



# The Australian Network for Japanese Law

<websites> <http://law.anu.edu.au/anjel>  
[www.anjel.unsw.edu.au](http://www.anjel.unsw.edu.au)  
[www.law.usyd.edu.au/anjel](http://www.law.usyd.edu.au/anjel)  
<e-mail> [anjel@law.usyd.edu.au](mailto:anjel@law.usyd.edu.au)

## オーストラリアの日本法ネットワーク (ANJel) 同志社大学法科大学院形成支援プロジェクト 共催ワークショップ

日時：2004年11月26日(金) 午後1時30分～午後4時45分

場所：同志社大学法科大学院

テーマ：

「南半球・グローバルな視点から見た日本の法改正過程：法曹養成制度とビジネス・ローを中心にして」 (Australasian and Global Perspectives for Japanese Law Reform Processes: Legal Education, Commercial Regulation, and Beyond)

日本は、1990年代から経済的に「失われた時代」とともに混乱に満ちた一連の法改正を経験してきた。オーストラリアとニュージーランドも1980年代から同様な規制緩和と再規制を経験してきた。また、「南の世界」で比較法と日本法に関心を向ける研究者は、ヨーロッパやアメリカの研究者とは異なるアプローチと視点を持ってきた。このワークショップでは、展開し続ける法改正の過程（単に結果だけではなく）、特に商業規制と法曹養成制度改革という二つの共通関心事項に焦点を当てつつ、彼らの視点をグローバルな視点から探求する。日本法のアメリカ化は実際にあるのか、あるいはあるべきなのか？法改正過程により一元性を保つためにも日本はアングロ・コモンウェルスモデルを通じて独立の法改革委員会 (Law Commission) を必要としているのか？その設置は法改革における価値の多元化を促進、あるいは妨害するのであろうか？ビジネス・ローのEU路線での統一の強化は、日本が締結し始めている二国間貿易協定、地域的貿易協定への自発的取組に加味されるべきなのだろうか？オーストラリアや日本のロースクールはその官僚化と「商業化」に抵抗できるのだろうか？

形式：

日本のロースクール並びにオーストラリアの主要ロースクールで提案された相互交流式授業の導入に相応しく、このワークショップは論文発表形式の講演を最小限に抑え、少人数でのグループ議論と自由討論を中心に行われます。企画担当と予め選任された少人数グループの代表者が議論の論題を事前に用意・配布します。ただし、参加者は事前に与えられた論題に関するペーパーをウェブ掲載用に提出することが望ましいです。提出された論文の幾つかは開会セッション、あるいはグループ議論の際に紹介されます。議論は主に日本語で行われますが、論文と議論の資料は英語であってもかまいません。

日程表：

- 12.30-1.30: 登録受付、昼食（京風弁当）
- 1.30-2.15: 開会セッション（簡単な論文発表含む）
- 座長挨拶：高橋宏司（同志社大学法科大学院，形成支援プロジェクト・コーディネーター）
  - ANJeL の紹介：ケント・アンダーソン（ANJeL Co-director, オーストラリア国立大学、早稲田大学法科大学院客員助教授）
  - 「オーストラ・アジアンの視点とグローバルな視点」概論：レオン・ウォルフ（ANJeL Co-director, ニューサウスウェールズ大学、ペンシルバニア大学ロー・スクール客員研究員）
  - 商業規制と法曹養成教育改革の概論：ルーク・ノッテジ（ANJeL Co-director, 立命館大学法学部客員助教授）
- 2.15-2.45: 少人数グループ・ディスカッションー第一ラウンド：
- (a) 「視点」グループ（コーディネーター：デイヴィッド・アスキュー、立命館アジア太平洋大学）
  - (b) 「法学教育」グループ（コーディネーター：サム・エドワーズ、名古屋大学；指宿信、立命館大学）
  - (c) 「法学教育」グループ（コーディネーター：ローレンス・レペタ、大宮法科大学院大学；ジャック・トービン、ユアサハラ法律特許事務所）
  - (d) 「商業規制」グループ（コーディネーター：出口雅久、立命館大学）
  - (e) 「商業規制」グループ（コーディネーター：マチュー・ウィルソン、テンプル大学）
  - (f) 「立命・同大院生」グループ（コーディネーター：ケント・アンダーソン、ルーク・ノッテジ、レオン・ウォルフ）
- 2.45-3.15: 休憩（緑茶あるいはコーヒー）
- 3.15-3.45 少人数グループ・ディスカッションー第二ラウンド
- 3.45-4.30 自由討論 コーディネーター：
- ケント・アンダーソン、ルーク・ノッテジ、レオン・ウォルフ
  - マルコム・スミス（中央大学）
- 4.30-4.45 閉会挨拶と今後の展望：ルーク・ノッテジ、高橋宏司
- 4.45-5.30 休憩・歓談
- 5:30-7:30 夕食：同志社法科大学院スカイライン・レストラン

## 参加費用と応募方法

このワークショップに参加するにあたり、登録費用は必要ありません。ただし、定員は50名（うち、同志社大学・立命館大学法科大学院学生20名まで）にさせていただきますので、早めにご登録ください。参加者全員の歓迎会は同志社形成支援プロジェクトが主催し、またコーディネーターの夕食時の飲み物と昼食のお弁当はANJeLが負担致します。その他の参加者の方々には、お飲み物代として2,100円、昼食のお弁当代として1,200円をワークショップの開催時に徴収させていただきます。

ワークショップへの参加をご希望される方は、**11月16日（火）までにEメールにて [ji-ls2@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-ls2@mail.doshisha.ac.jp)まで**、下記詳細を添えてご連絡ください。

- お名前と所属機関。
- 昼食・夕食会への参加をご希望されるかどうか。
- 「視点」、「商業規制」、「法学教育」の中で少人数グループ・ディスカッションへの参加をご希望されるトピックを二つお選びください。
- ワークショップ・ウェブサイトへの掲載用の関連論文の詳細（ワークショップ・ウェブサイトは下記のアドレスになります：[www.law.usyd.edu.au/anjel/workshop.htm](http://www.law.usyd.edu.au/anjel/workshop.htm)；ミラーサイト：<http://law.anu.edu.au/anjel>；[www.anjel.unsw.edu.au](http://www.anjel.unsw.edu.au)）